

三位一体の主日 ヨハネ 3：16～18

今日は三位一体の主日です。三位一体については、実は、聖書の中には曖昧にしか書かれていません。教会の初めからあったものではありません。キリスト教がユダヤ教から離れて、“ユダヤ教の神（一神教）”と“キリスト教の神（同じく一神教）”の違いをどのように説明するか試行錯誤の中から生まれました。さまざまな考えの中から、これが正しい、正統な信仰と認められたものが4世紀になってやっと確定しました。私たちが、大きな祝日に唱えているニケア・コンスタンティノープル信条（381年）に三位一体の神が謳われています。この信条が作られる前には、ユダヤ教の神、父なる神を絶対視して、子なる神のイエスや聖霊を格下、父なる神よりも劣ったもののように考える人たちがいました。これに対して教会は、父と子と聖霊が、同じ本質から来ていて、同等なものであることを決定して宣言しました。父と子と聖霊は、1つの神様（一神教）ですが、現われ方や働き方がそれぞれ異なると、宣言して従属説などの異端を退けました。

ここまでは、学問的な説明で、これからは信仰生活に三位一体の神がどう関わるか？の話です。ある黙想指導者が黙想者に質問しました。「あなたは誰に向けて祈ったり話しかけていますか？父なる神ですか？子なるイエスですか？聖霊ですか？」手を挙げてもらいましょう。「父なる神様に向けて祈っている方？」「子なる神イエスに向かって祈っている方？」「聖霊に向かって祈っている方？」やはり、聖霊に向けて祈っている方が少ないですね。私たちは、父と子と聖霊の神、三位一体の神を信じているので、どれかに偏るのではなくバランスが大切です。今日は、3つの全てを詳しくはお話ししませんが、概略をご紹介します。

「父なる神」は、天地万物の創主です。私たちは生命の誕生、自然の美しさなどに触れて神様に感謝と賛美を捧げます。5年前、オーストラリアの第三修練の時の体験です。メルボルンからシドニーまで約1000キロを車で移動しました。途中、激しいヒョウが降って来て前が見えなくなり、車を止めてしばらく様子を見ていました。しばらくして、小降りになったのでまた走り始め目的地に何とか着きました。翌朝、晴れてとても綺麗な虹が出ていました。浜辺を歩いているとステイブ修練長はこう言いました。”Today God is smiling.” 「今日は、神様が笑っている」神様が自然の中におられて、怒ったり笑ったりしている。そんな感覚が私にはなかったもので、とても新鮮でした。神様は、私たちと関わってくださる。そんな神様に向き合っていく。「父なる神様」を感じて、話しかけましょう。旧約聖書は、父なる神様について書かれています。新約だけでなく旧約にも触れてみましょう。根気が入りますが、「ヨブ記の黙想 試練と恵み」の資料が徳山教会のホームページ（司祭のメッセージ 2020年5月4日でご覧いただけますので黙想してみてください。

<https://tokuyamacat.web.fc2.com>)

次は、子なる神＝イエス様です。イエス様を身近に感じる方法は様々だと思います。まず大好きな聖書の御言葉があります。信仰生活でどんな生き方をしたいのか？目標だったり憧れだったり・・・今まで自分を養い育ててくれた御言葉、励まされた御言葉を思い出してください。例えば「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。私は柔和で心のへりくだった者だから、私の軛を負い、私に学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に安らぎが得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」（マタイ 11：28～30）

「さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。お前たちは、私が飢えていた時に食べさせ、喉が乾いている時に飲ませ、旅を

している時に宿を貸し、裸の時に着せ、病気の時に見舞い、牢にいた時に訪ねてくれたからだ。」
(マタイ 25:34~36) これまで出会った御言葉を振り返り、また新しく心に響く御言葉に出会えるように願いましょう。

そして、聖霊です。聖霊に語ったり祈ることに慣れてない方が多いかもしれませんが、一番、頻繁に働いてくれます。聖霊は、ひらめき、インスピレーションに近いです。先週は、エル・グレコの三位一体の絵を用いてベトナム青年たちへの献金を思い立ちましたが、それは朝、児玉公園をロザリオしながら散歩していた時です。ロザリオのはじめに「聖霊の導きを願う祈り」をして「何かお手伝いすることができることはないだろうか？」と・・・ぼんやり考えていたときに浮かびました。また、先週は保護者から恐竜のマスクをいただきました。お母さんからのメッセージもありました。「いつも子供たちのことを考えてくださりありがとうございます。園長先生の好きな恐竜柄でマスクを制作しましたのでよかったら使ってください。これからもよろしく願います。」私と保護者・園児さんのコミュニケーションを聖霊が取り持ってくれているようで、嬉しくなりました。聖霊が慰めと励ましで働きかけてくれました。

私たちは、起きている物事に反応して生活しています。それには、直観だったりインスピレーションの方が知識より早く反応できます。その聖霊の働きが、とても大切です。

「父」と「子」と「聖霊」の三位一体の神。どれか一辺倒ではなく、3つをバランスよく祈れることで、神様の呼び掛けに早く反応できると思います。神様から与えられる恵みに気づき、与えられる使命を果たしていけるように三位一体の神に願いましょう。

ニケア・コンスタンティノーブル信条(381年)

わたしは信じます。唯一の神、全能の父、天と地、見えるもの、見えないもの、すべてのものの造り主を。わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。主は神のひとり子、すべてに先立って父より生まれ、神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、造られることなく生まれ、父と一体。すべては主によって造られました。主は、わたしたち人類のため、わたしたちの救いのために天からくだり、聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、人となりました。ポンティオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、苦しみを受け、葬られ、聖書にあるとおり三日目に復活し、天に昇り、父の右の座に着いておられます。主は、生者(せいしゃ)と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。その国は終わることがありません。わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。聖霊は、父と子から出て、父と子とともに礼拝され、栄光を受け、また預言者をとおして語られました。わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。罪のゆるしをもたらし唯一の洗礼を認め、死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。アーメン。

2004年2月18日 日本カトリック司教協議会認可

聖霊の導きを願う祈り(ベニ・サンテ・スピリトゥス)

聖霊、私たちの心に来てください。信じる人の心を満たし、あなたの愛の火を燃やしてください。神よ、あなたの愛の息吹を送って、すべてを造り、地の面を新たにしてください。

祈りましょう。神よ、あなたは聖霊の光によって、信じる人々の心を照らしてくださいました。聖霊のうちにあって、私たちが正しいことを愛し、その慰めによって、喜びに満たされますように。主キリストによって。

アーメン